



平成27年11月13日

各 位

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル
代表者 代表取締役社長 川崎 亨
(コード番号 9713)
問合せ先責任者 財務チーム長 坊傳 康真
(TEL 06-6448-1121)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日、公表いたしました「資本業務提携の変更ならびに固定資産(信託受益権)の取得に関するお知らせ」のとおり、事業用定期借地権設定契約の変更及び固定資産(信託受益権)の取得に伴い、また、最近の業績動向も踏まえ、平成27年9月18日に公表いたしました平成28年3月期通期業績予想(連結・単体)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,750	1,250	1,100	△1,250	△12.20
今回修正予想(B)	40,850	1,400	1,100	△1,100	△10.74
増減額(B-A)	100	150	—	150	
増減率(%)	0.2	12.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	44,689	1,272	954	2,695	26.31

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,050	650	750	△150	△1.46
今回修正予想(B)	26,400	800	600	△50	△0.49
増減額(B-A)	△650	150	△150	100	
増減率(%)	△2.4	23.1	△20.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	31,506	616	579	2,379	23.23

修正の理由

(連結)

当期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「資本業務提携の変更ならびに固定資産(信託受益権)の取得に関するお知らせ」に記載のとおり、当社、森トラスト株式会社(以下「森トラスト」)及び関電不動産株式会社(以下「関電不動産」)の3社で締結しておりました「開発事業に関する覚書」を解消するとともに、森トラスト所有分の土地(株式会社SMBC信託銀行を信託受託者とする信託受益権)を当社が取得することとなりました。この影響により、森トラストに対する賃料はなくなる見込みであります。

また、この取得に伴い、平成23年9月に森トラスト及び関電不動産と締結しておりました事業用定期借地権設定契約(契約期間は平成33年9月29日まで)に関して、不動産管理信託契約上の所有者となるSMBC信託銀行及び関電不動産との間での変更契約(契約期間は平成47年11月16日まで)を締結いたしました。この影響により既存ホテルの建物等の償却年数が延長されることで減価償却費が減少すること等から営業利益は前回予想(平成27年9月18日公表数値)を約150百万円上回る見込みであります。

営業利益は上回る予想であります。上記記載の信託受益権の取得資金に充当するための借入金に対する支払利息が増加するため経常利益はほぼ前回予想どおりとなる見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記記載のとおり償却年数延長により、繰延税金負債が減少することで法人税等調整額も減少するため、前回予想(平成27年9月18日公表数値)を約150百万円上回る見込みであります。

今回の業績予想につきましては、適時開示基準には該当いたしません。本日公表の「資本業務提携の変更ならびに固定資産(信託受益権)の取得に関するお知らせ」や「会社分割(簡易新設分割)による子会社設立に関するお知らせ」等、重要な決定事項がありましたので、平成27年9月18日に公表いたしました業績の予想を上記のとおり修正いたします。

なお、会社分割による損益に与える影響は軽微であります。

(個別)

個別におきましても、連結と同様の理由により、通期の営業利益は前回予想(平成27年9月18日公表数値)を約150百万円上回る見込みであります。

また経常利益は、連結同様の理由により支払利息が増加し、さらに子会社に対する貸付金の受取利息が減少する予定であるため、前回予想(平成27年9月18日公表数値)を約150百万円下回る見込みであります。

当期純利益については、連結と同様の理由による法人税等調整額等の減少により、前回予想(平成27年9月18日公表数値)を約100百万円上回る見込みであります。

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上